

安心して入学を迎えるために家庭でも心がけたいこと

お子さんが安心して小学校生活をスタートできるように、園や小学校も様々な工夫をしています。ご家庭でも、お子さんの成長を温かく見守りながら、このようなことを心がけてみてください！

たくさんの遊びから多くのことを経験させたいですね。

あいさつやへんじができるかな



あいさつは人と人との関係づくりの第一歩です。大人の姿を見ながら子どもたちも自然にできるようになります。あいさつは、なかよくなる魔法の言葉です。

自分のことは自分でできるかな



自分で着替えたり、脱いだ服をたんだり、持ち物の準備をしたりできるようにしましょう。できたらほめてやる気を育てましょう。

道路の安全な歩き方を確認できたかな



親子で通学路を歩き、危険な場所や交通ルールを確認して安全に通学できるようにしましょう。

自分の持ち物を整理整頓したり大事に使ったりできるかな



物を大事にする心を育てるために、靴を靴箱に入れたり、使った物を決まった場所に戻したりする習慣を身につけましょう。

早寝早起き朝ごはん、朝うんちのリズムがついたかな



生活リズムが整うことで学習や運動に向かう気持ちや自分のことは自分でするという自立に向かう気持ちが育ちます。朝ごはらは脳や体のエネルギーの源になり、一日を元気に過ごせます。

時間を意識して生活したり食事をしたりすることができるかな



「長い針が6までね」など、時間を意識して生活する習慣をつけましょう。

自分の気持ちを伝えることができるかな



こどもの話を最後まで真剣に聴くことで、言葉を通して気持ちや思いを伝え合う力が育まれます。困った時に自分から困ったことを伝えられることも大切です。

自分でトイレの始末ができるかな



用を足した後、ペーパーをたたんで拭いたり、終わったあとに水を流したりする習慣をつけましょう。

戸外でのびのび遊んでいるかな

夢中になって遊ぶ中にたくさんの学びがあります。生活に必要な知識や技能を身に付けるなど遊びを通して小学校生活につながる生きる力の基礎を学んでいきます。体を動かす遊び、自然体験などを家庭で一緒に楽しみましょう。



令和6年度版

新1年生の保護者のみなさまへ

もうすぐ1年生

4月から1年生になるお子さんのいる保護者の皆さまへ

宮古島市では、お子さんが安心して小学校生活をスタートできるように、ご家庭で心がけていただきたいことをリーフレットにしました。

お子さんがわくわくして小学校へ入学する手助けになれば幸いです。



ときどき



わくわく



小学校ってどんなところ？ よくあるご質問Q&A



Q ひらがなはどれくらいできるといいのかな？

A 文字の読み書きや計算は、小学校で基本からしっかり教えますので、無理に教え込む必要はありません。絵本に親しむ機会（読み聞かせ等）をつくるなど、生活の中で見つけた文字や数などへの興味関心を大切にしてください。無理のない範囲で、名札や靴箱に貼ってある自分の名前が読めたり、持ち物に自分の名前が書けたりすると安心して学校生活をスタートできます。

Q 入学後はすぐに45分間座って授業を受けるのですか？

A 入学当初は、生活科を中心としたスタートカリキュラムという柔軟なカリキュラムが組まれています。45分間着席した学習ではなく、10分単位、15分単位の短時間で授業を区切り、子どもの興味関心をもとに、体験を通して学ぶことを大切にしています。

Q 小学校では、友達と仲良くできるかな？

A 小学校には、様々な園や地域から子どもたちが入学してきます。どの子どもも安心して学べるよう、スタートカリキュラムに園で経験した歌やゲームなど「遊び」や「仲間づくり」を取り入れ、友達との出会いが広がるようサポートしていきます。

Q 就学に関して心配があるときは、どこに相談すればいいですか？

A 「友達関係がうまくいかない」就学に関して心配なことがありましたら、現在通っている保育施設などに相談して下さい。また、入学後のことで心配なことがありましたら、お気軽に入学予定の小学校や教育委員会、こども未来課まで相談下さい。

「乳幼児期の育ちと学び」が「小学校以降の学びや生活」につながっています！



遊びは学び。自発的な活動としての遊びや生活を通して、人、もの、出来事に関わった経験が、小学校生活の基盤となります。

乳幼児期にふさわしい遊びや生活を通してこの時期ならではの資質・能力を育み、小学校での学びや生活につながるよう指導計画に基づいた教育・保育が行われています。

生活や学び方が変わっても、幼児期に身に付けた力を生かし自信を持って過ごすことができるように、入学当初の学校生活はスタートカリキュラムから始まります。

スタートカリキュラムとは、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通した育ちと学びを基盤として、安心して学校生活をスタートさせ主体的に自己を発揮できるようにするためのカリキュラムです。

資質・能力の3つの柱は、乳幼児期から18歳まで一貫して育成されるもの <0歳～18歳までの育ちや学びの連続性>